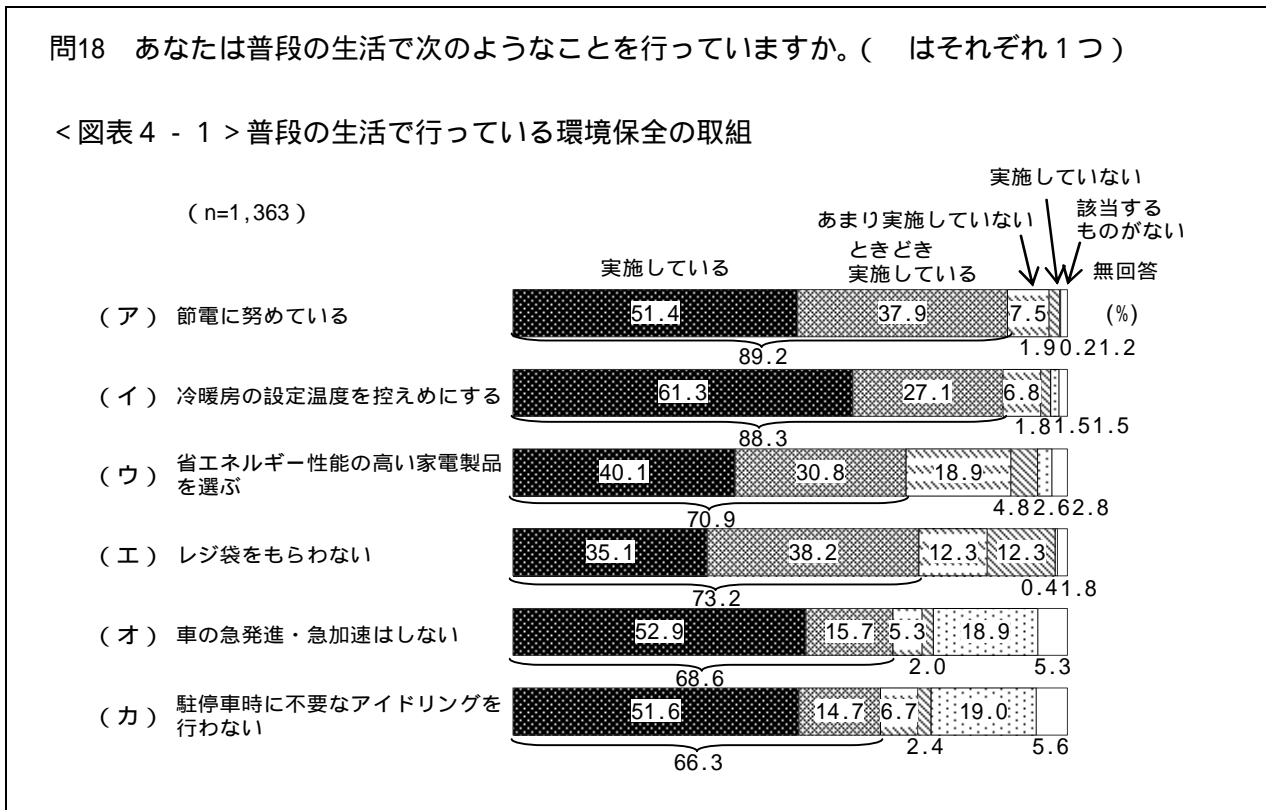


4 環境保全に関する取組について

（1）普段の生活で行っている環境保全の取組

『節電に努めている』『冷暖房の設定温度を控えめにする』が共に約 9 割



普段の生活で行っている環境保全の取組状況を、「実施している」「ときどき実施している」を合わせた『実施している計』でみたところ、「(ア) 節電に努めている」(89.2%)、「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」(88.3%) が共に約 9 割と高くなっている。

また、「(エ) レジ袋をもらわない」(73.2%)、「(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ」(70.9%) は、7 割以上が『実施している計』としている。(図表 4 - 1)

【地域別】

地域別にみると、「(ア) 節電に努めている」について『実施している計』は、“香取地域”(95.8%) で 9 割台半ば、“東葛飾地域”(92.0%) で 9 割を超えて高くなっている。(図表 4 - 2 - 1)

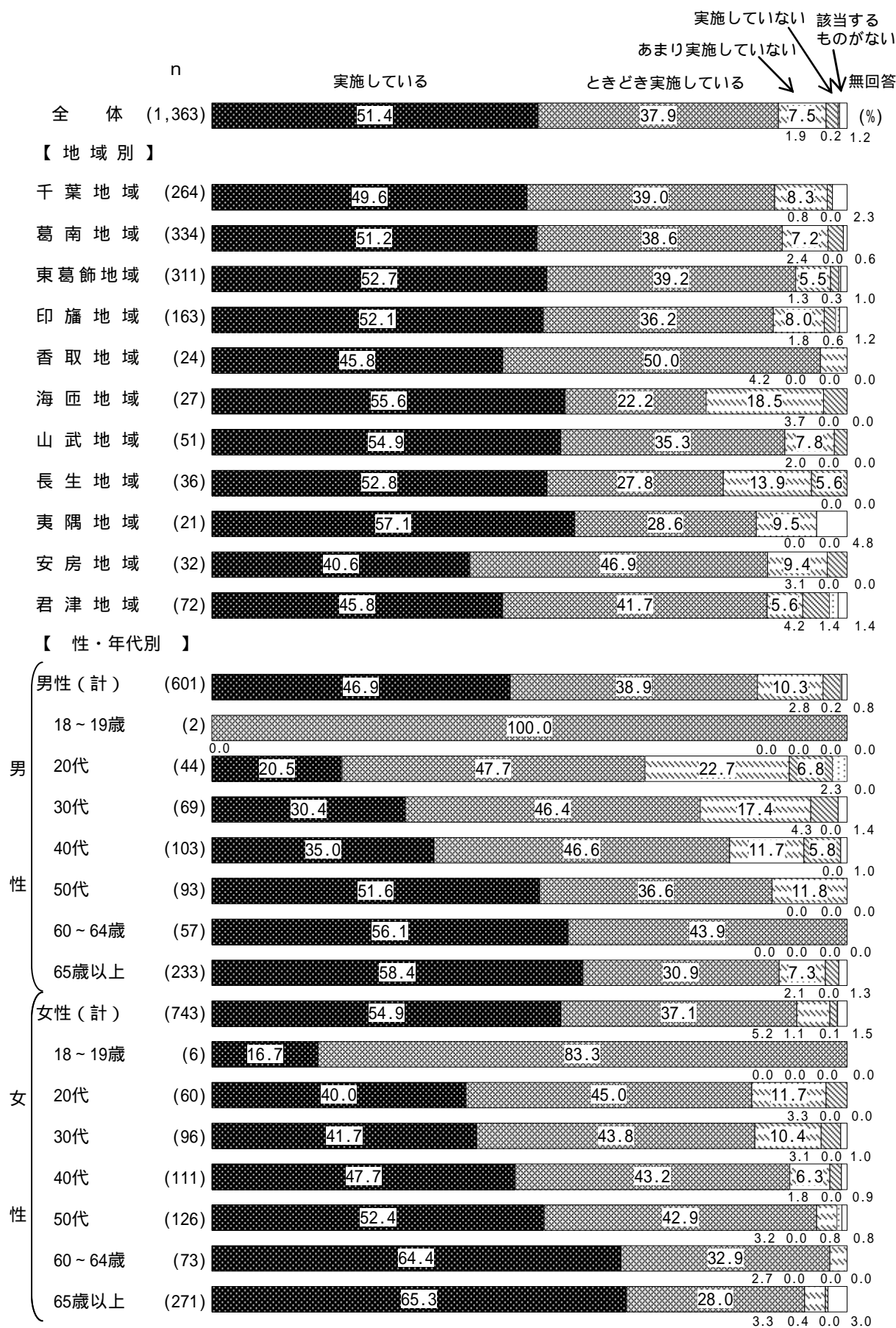
「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」について『実施している計』は、“香取地域”(95.8%) で 9 割台半ば、“東葛飾地域”(92.0%) で 9 割を超えて高くなっている。(図表 4 - 2 - 2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 節電に努めている」について『実施している計』は、男性の 60～64 歳(100.0%) で 10 割、女性の 50 代(95.2%) で 9 割台半ば、女性の 60～64 歳(97.3%) で約 10 割、女性の 65 歳以上(93.4%) で 9 割台半ばと高くなっている。(図表 4 - 2 - 1)

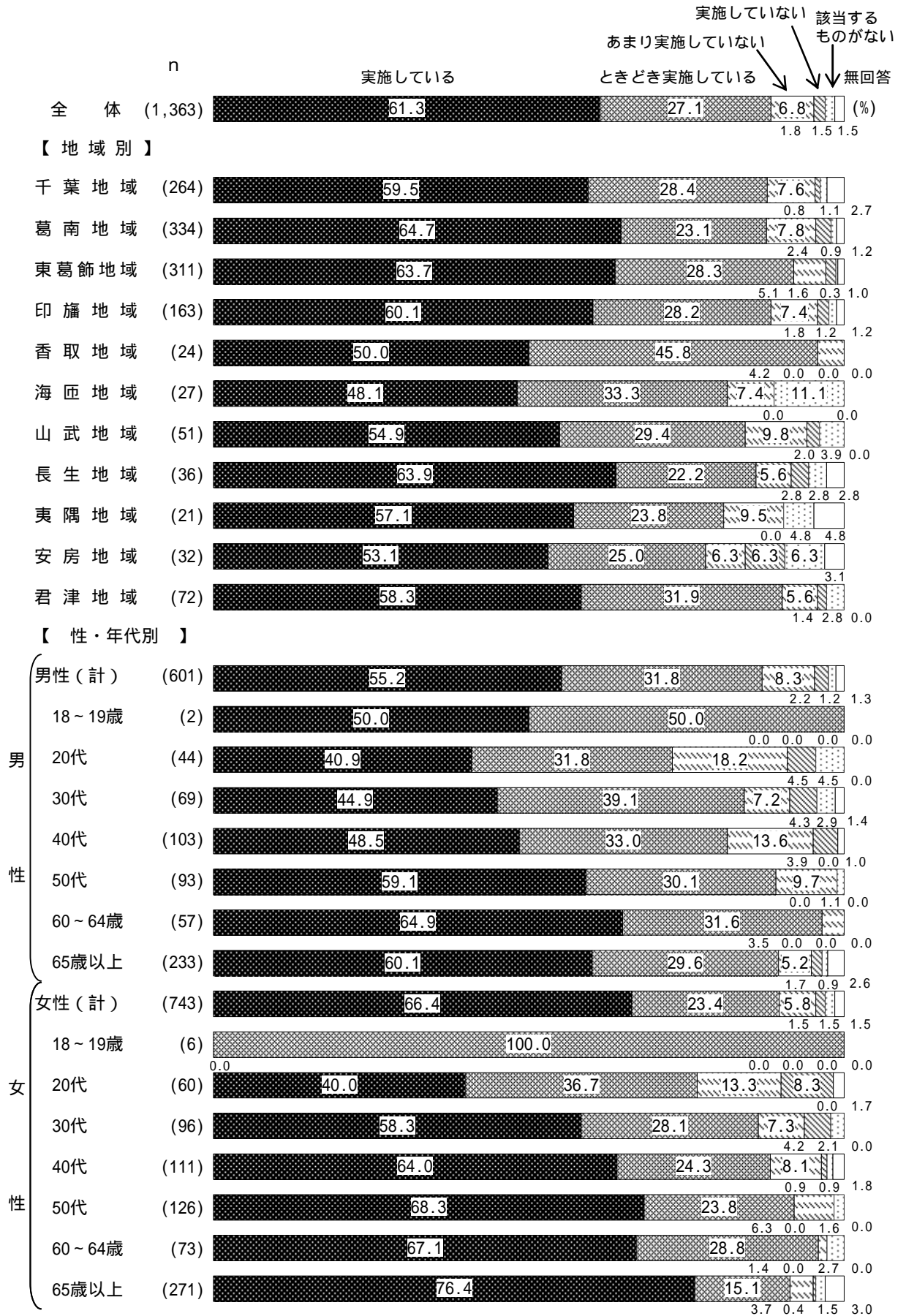
「(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする」について『実施している計』は、男性の 60～64 歳(96.5%)、女性の 60～64 歳(95.9%) で共に 9 割台半ばと高くなっている。(図表 4 - 2 - 2)

<図表 4 - 2 - 1> 普段の生活で行っている環境保全の取組 / 地域別、性・年代別
 (ア) 節電に努めている

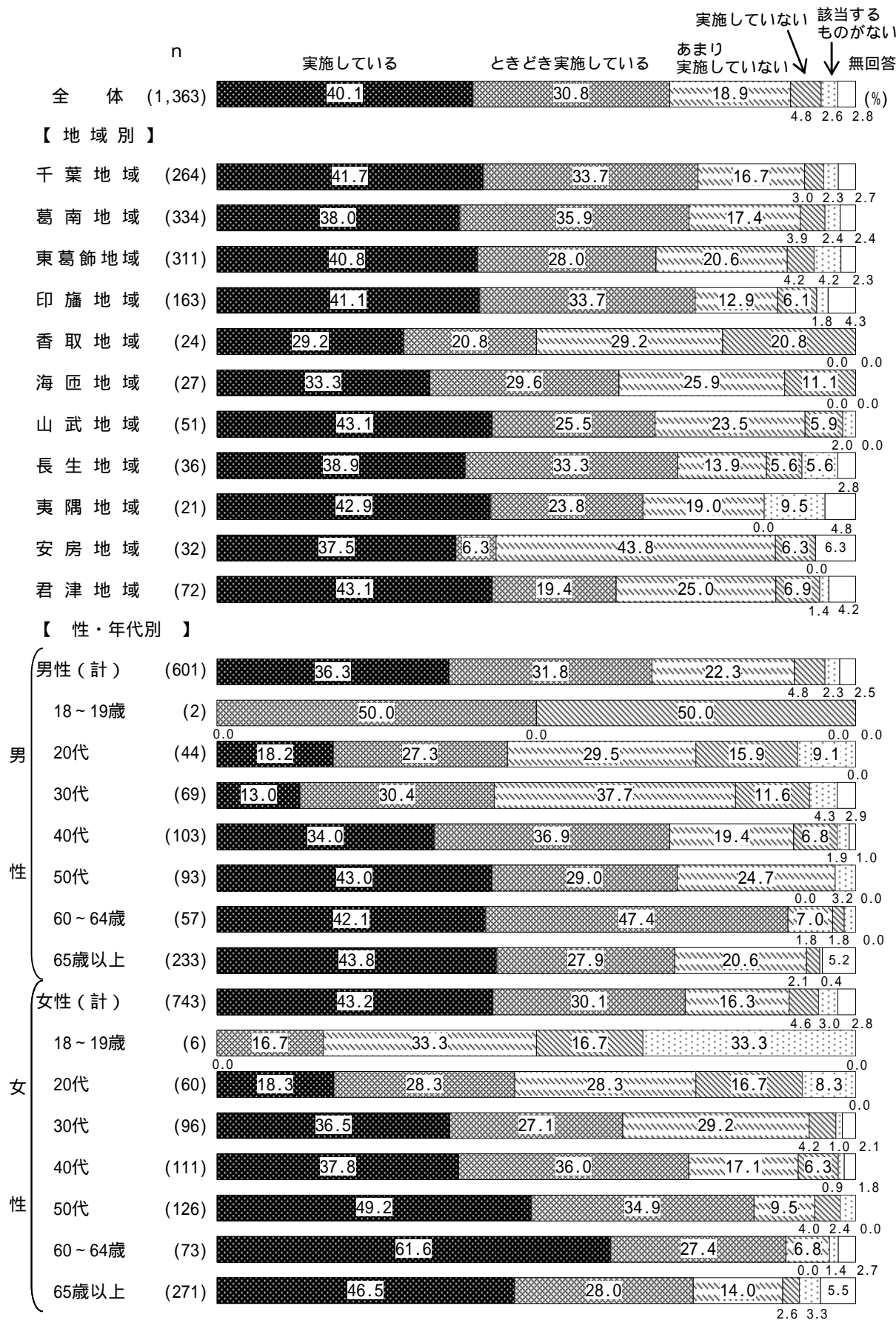


第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 4 - 2 - 2 > 普段の生活で行っている環境保全の取組 / 地域別、性・年代別
 (イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする

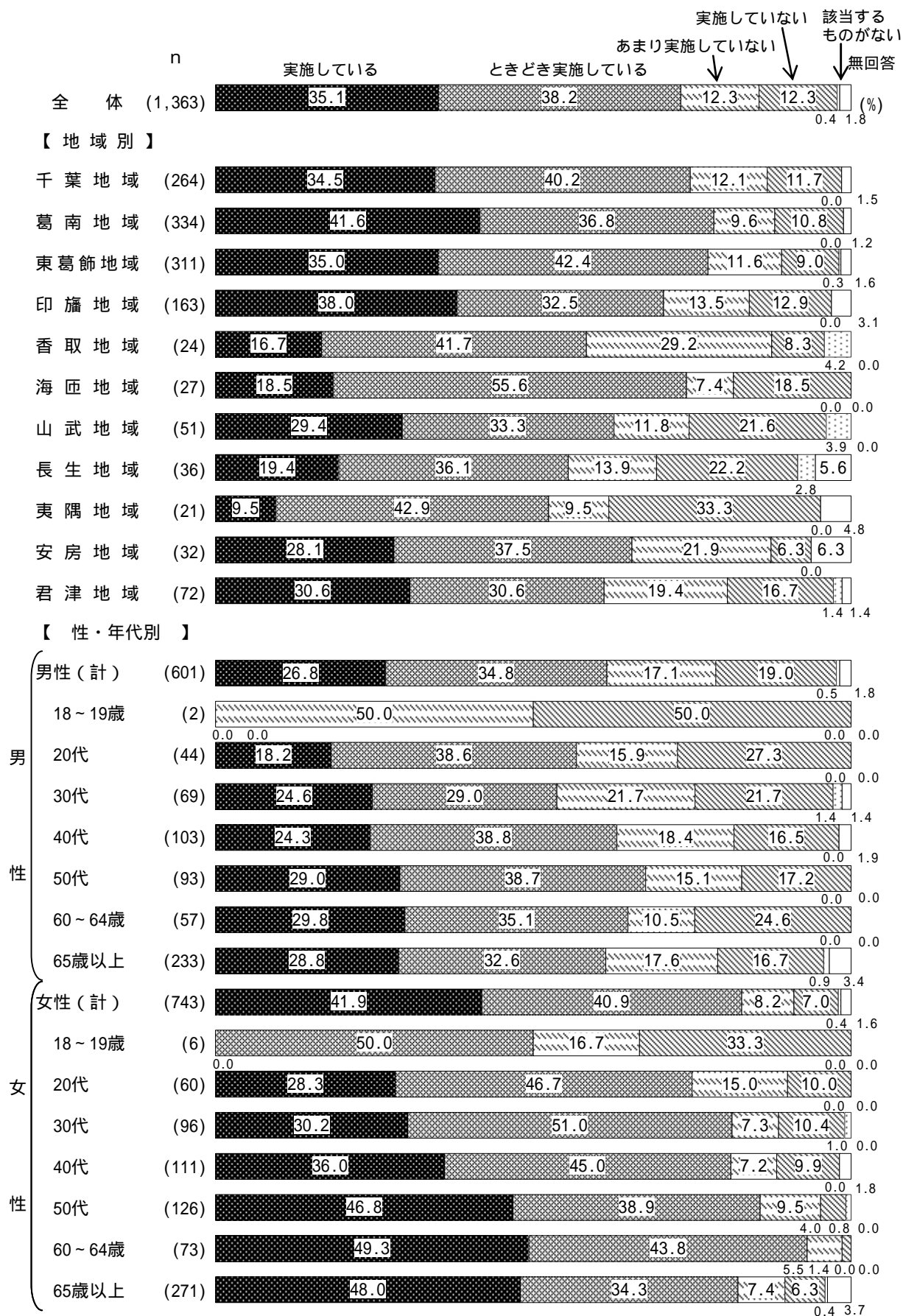


< 図表 4 - 2 - 3 > 普段の生活で行っている環境保全の取組 / 地域別、性・年代別
 (ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ

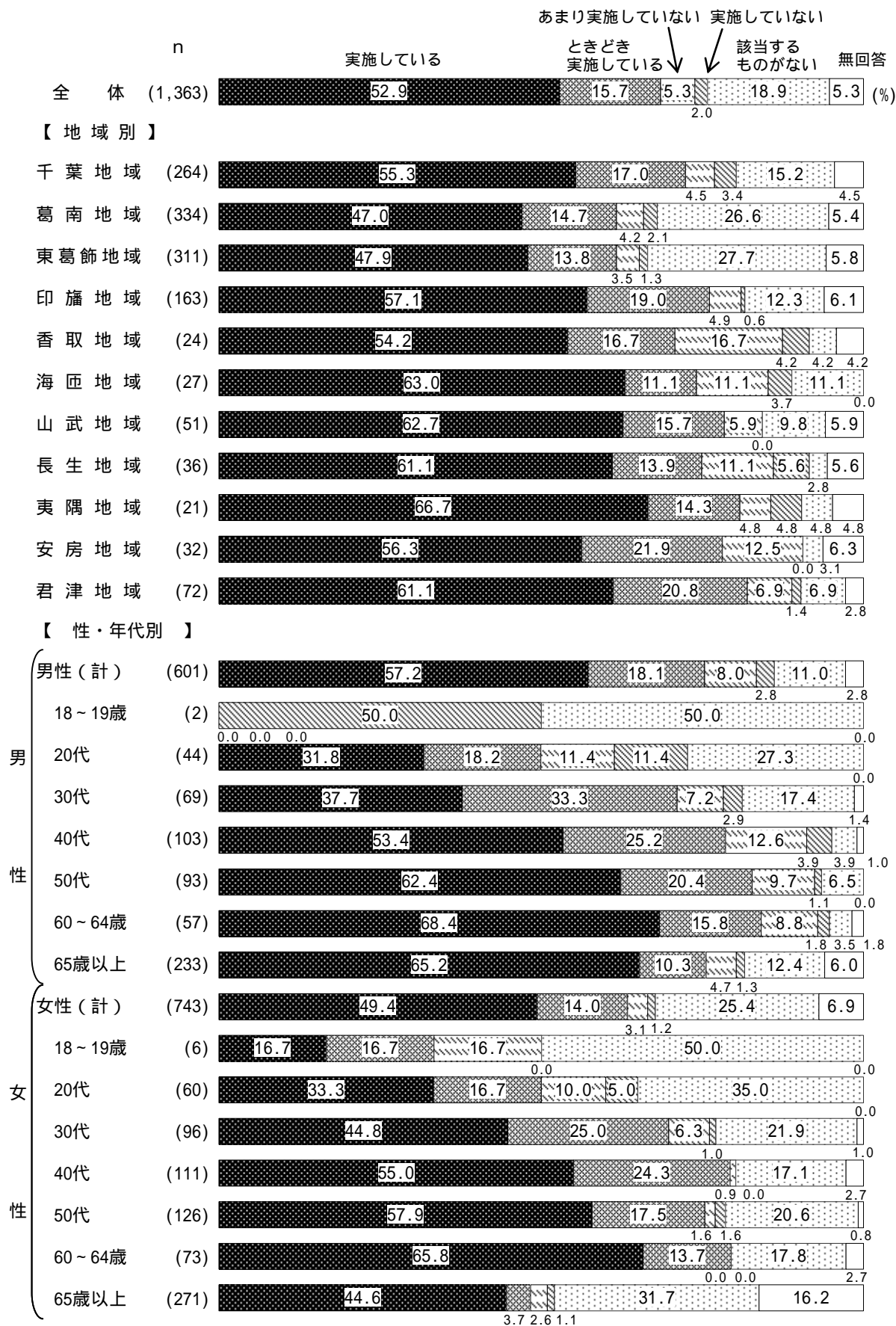


第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 4 - 2 - 4 > 普段の生活で行っている環境保全の取組 / 地域別、性・年代別
 (エ) レジ袋をもらわない

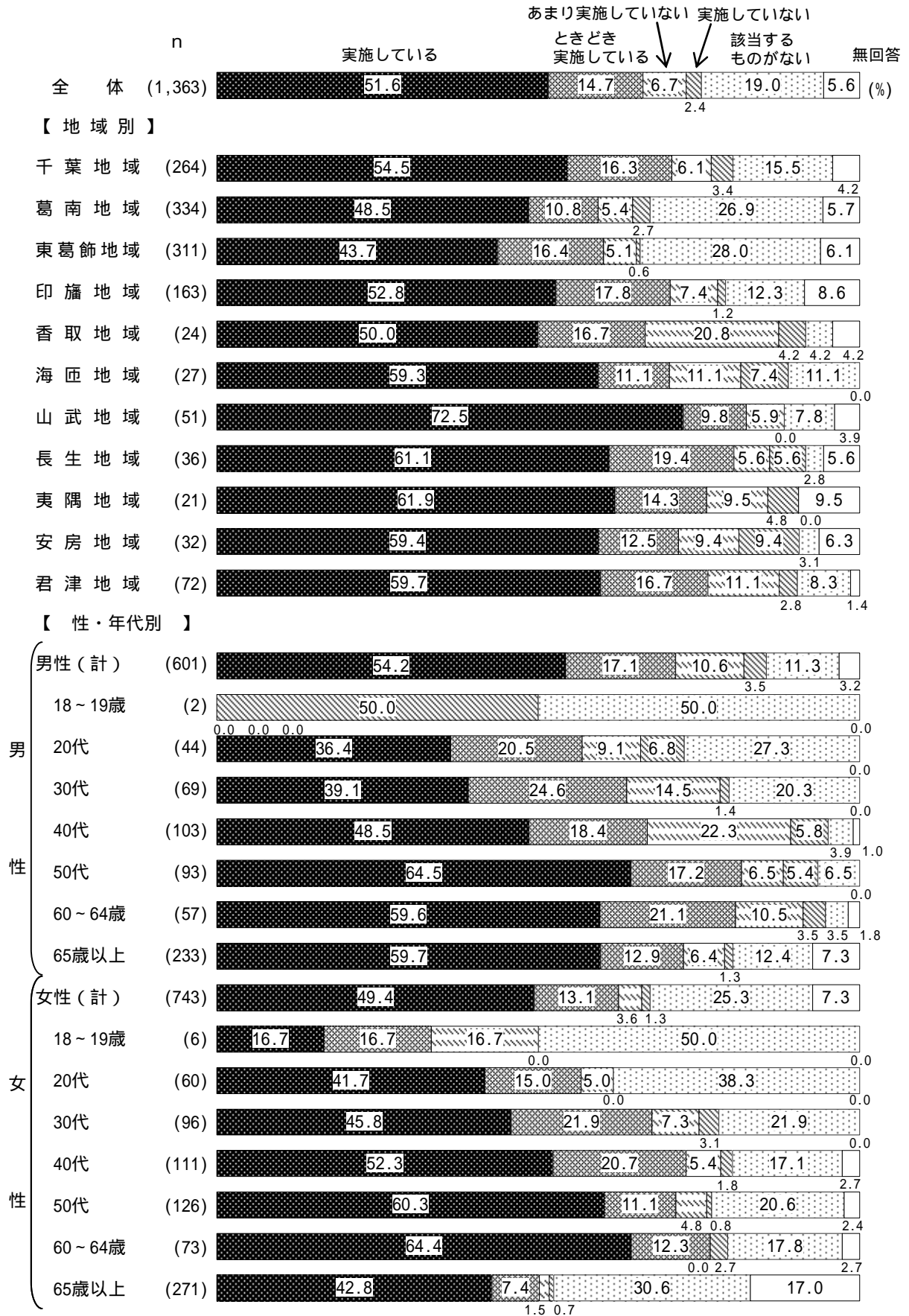


< 図表 4 - 2 - 5 > 普段の生活で行っている環境保全の取組 / 地域別、性・年代別
 (オ) 車の急発進・急加速はしない



第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 4 - 2 - 6 > 普段の生活で行っている環境保全の取組 / 地域別、性・年代別
 (カ) 駐車時に不要なアイドリングを行わない

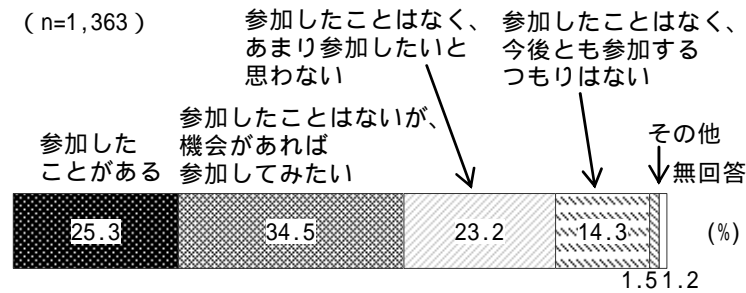


（ 2 ）環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動の参加状況

『参加したことがある』が 2 割台半ば

問19 あなたはこれまでに県・市町村などの行政や民間団体などが実施する環境保全に関する講演やセミナー、あるいは植林や清掃活動などの環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。（ は 1 つ ）

< 図表 4 - 3 > 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動の参加状況



環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動の参加状況について聞いたところ、「参加したことがある」(25.3%) が 2 割台半ばとなっている。また、「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」(34.5%) が 3 割台半ばとなっている。(図表 4 - 3)

【地域別】

地域別にみると、「参加したことがある」は、“安房地域”(40.6%) で 4 割と高くなっている。

「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」は、“長生地域”(50.0%) で 5 割、“千葉地域”(41.3%) で 4 割を超え、“葛南地域”(39.5%) で約 4 割と高くなっている。(図表 4 - 4)

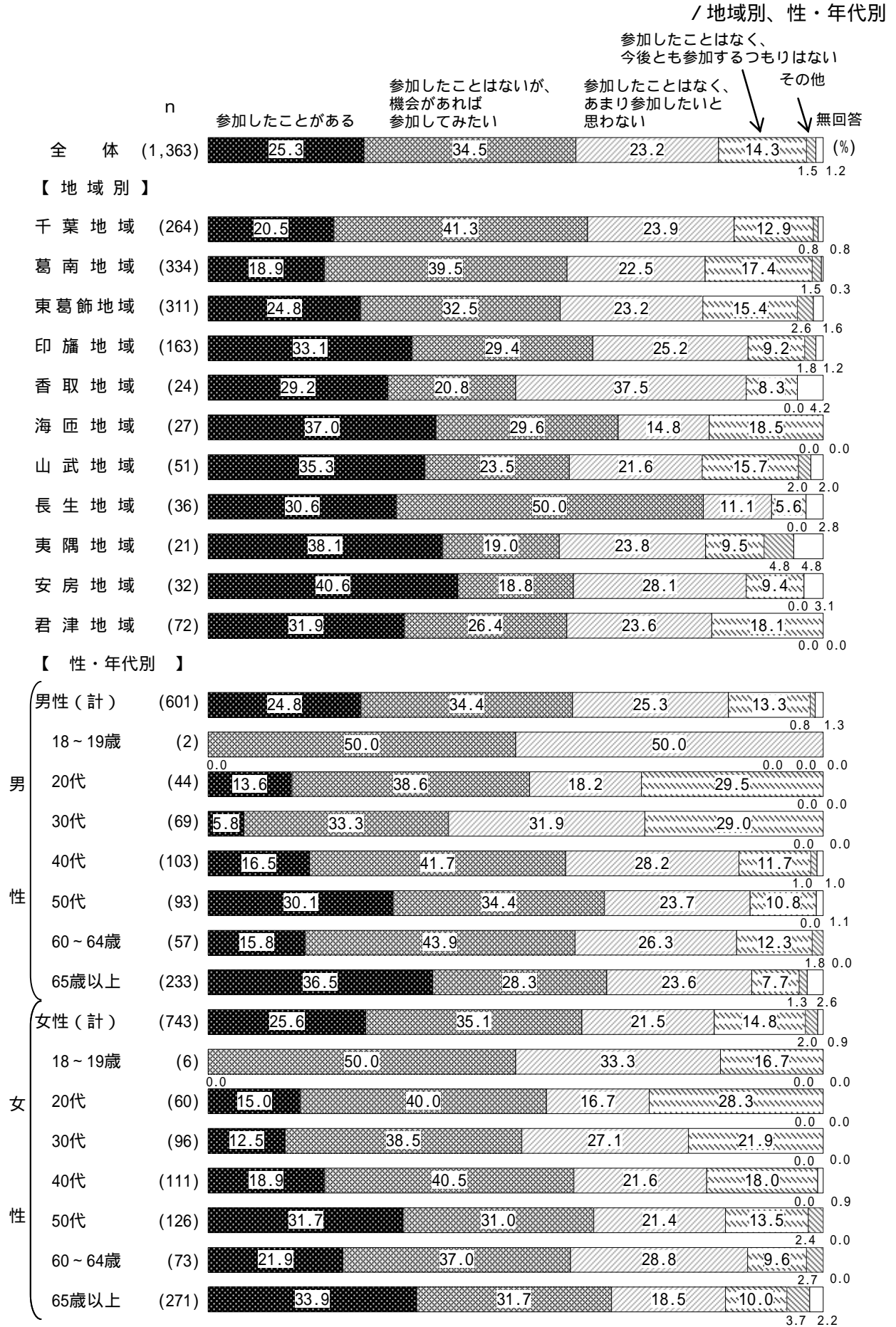
【性・年代別】

性・年代別にみると、「参加したことがある」は、男性の65歳以上(36.5%)、女性の65歳以上(33.9%) で3割台半ばと高くなっている。

また、「参加したことはなく、今後とも参加するつもりはない」は、男性の20代(29.5%)、男性の30代(29.0%) で共に約 3 割、女性の20代(28.3%) で約 3 割、女性の30代(21.9%) で 2 割を超えて高くなっている。(図表 4 - 4)

第 53 回県政に関する世論調査（H28 年度）

< 図表 4 - 4 > 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動の参加状況



このほかに、「環境保全に関する取組について」やここまでの質問（問18～問19）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、134 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「環境保全に関する取組について」の自由回答（抜粋）

相続他、いろいろな理由はあると思うが、この 10 年でも雑木林、草地、畑、田などがなくなり、建売り住宅にどんどん変わり、緑が減っていく。できれば残るようなことを考えてほしい。(女性、40 代、東葛飾地域)

千葉県は緑の多い県と思うのでいろいろな方法で保全につとめて欲しいと思う。(女性、60～64 歳、葛南地域)

自然エネルギーを利用した公共交通手段を取り入れ、安価で利用できるようにしたら良いと思います（ショッピングモールへのバス化など）。津田沼駅の鳥をどうかしてほしい。鳴き声、フンによる被害が大きいです。(女性、30 代、葛南地域)

都市部以外の地域では、可燃ゴミとして、伐採した庭木の枝や草等を多く出していると思います。これらを利用して、バイオマス発電（ガス生成も含む）等ができないでしょうか。ゴミの収集コストがかかるとは思いますが、黒字にする必要はないと思いましたが。

(男性、60～64 歳、長生地域)

市原～千葉 16 号を使いますが、ゴミのポイ捨てが非常に目立ちます（時々、周辺企業の方が拾ってくれていますが）。学校などで特別授業（ゴミを捨てたらどうしていけないのか等）を実施してみたらどうでしょうか？(女性、30 代、千葉地域)

流山市は資源ゴミの出し方が難しいです。引越したばかりで分かりません。柏市にいた時は資源ゴミとして出していた紙が、今燃やすゴミに出しています。その他にも衣類の出し方がわからないし、困っています。(女性、65 歳以上、東葛飾地域)

清掃活動に関心あり、県民だより等に掲載して頂ければ参加出来るよう努める。

(女性、40 代、千葉地域)

省エネルギー性能の高い家電は欲しくても今のものが使えるため、わざわざ買うとお金もかかるため、購入費用も大変だ。買い替えの時なら選びたいと思う。(女性、40 代、安房地域)

ほんの小さな心遣いで成功することが多い。例えばゴミ、かつて（2～3年前）は週に 30 L だったのが、今では 20 L あるかないかになっている（夫婦 2 人家族）。

(女性、65 歳以上、千葉地域)

家庭のごみを平気で燃やしている人がとても多い。(女性、65 歳以上、海匝地域)